



わが東中

校訓：共に羽ばたく

能代市立能代東中学校
校長室より 校報第19号
令和5年2月7日 発行
【文責：平澤 秀樹】

学校教育アンケートの結果について

冬休み前に生徒と保護者対象に実施した「学校教育についてのアンケート」については、ご協力ありがとうございました。生徒回答数90名、保護者回答数延べ82名でした。なお、表中上段は7月アンケート、下段は12月アンケートの結果です。調査人数が違っているため、今回と先回の結果をパーセントで示しました。

教職員一同、生徒の状況や保護者のご意見、ご要望を生かして、生徒の成長のために努めてまいります。

(1) 日頃、家庭で学校や友だちのことを話す機会はどの程度ありますか。

	生徒 (%)	保護者 (%)
ほとんど毎日話をする	67.0%	72.7%
	65.0%	75.6%
ときどき話をする	28.8%	27.3%
	32.2%	24.4%
ほとんど話をしない	4.2%	0%
	2.8%	0%

(2) 今年度の教育活動の重点について

① 考え・学び合う人 ～基礎・基本の定着	生徒 (%)				保護者 (%)			
	そう思う	やや思う	思わない あまり	思わない	そう思う	やや思う	思わない あまり	思わない
学習内容を分かっている。	46.4	50.5	3.1		18.2	51.1	26.1	4.6
	45.0	50.5	3.3	1.2	18.2	47.5	29.6	4.7
分からないことは質問等で解決している。	19.9	40.2	36.1	4.1	9.0	42.0	38.6	10.4
	25.8	48.3	23.6	2.3	18.2	35.4	40.2	6.2
話し合い活動等で自分の考えを深めたり、広げたりしている。	44.3	47.4	8.3		19.3	53.4	23.8	3.5
	46.0	50.0	4.0		22.0	59.8	14.6	3.6
先生たちは、授業で使用する様々なものの工夫やICTの活用などをして、授業している。	67.0	30.9	2.1		21.6	67.0	10.2	1.2
	69.6	29.2	1.2		32.9	56.1	11.0	

② 心豊かな人 ～よさを認め合う	生徒 (%)				保護者 (%)			
	そう思う	やや思う	思わない あまり	思わない	そう思う	やや思う	思わない あまり	思わない
学校生活を楽しんでいる。	64.9	31.9	2.1	1.1	42.0	48.9	6.8	2.3
	69.7	21.3	7.8	1.2	40.2	50.2	7.3	2.3
自分にはよいところがある。	35.0	43.3	18.5	3.2	34.1	50.0	12.5	3.4
	34.8	43.8	18.0	3.4	36.6	49.0	11.0	3.4
周りの生徒のよさを認めている。	81.4	17.5	1.1		53.4	42.1	4.5	
	79.7	19.1	1.2		51.2	45.4	3.6	
笑顔で元気なあいさつをしている。	43.3	47.4	8.2	1.1	31.8	43.2	23.8	1.2
	46.1	41.6	12.3		40.2	40.2	12.2	7.4
生徒会や委員会活動に積極的に参加している。	61.8	35.0	2.1	1.1	34.0	50.0	14.8	1.2
	55.2	40.4	4.4		40.2	47.7	10.9	1.2

③ たくましい人 ～心身共にたくましく	生徒 (%)				保護者 (%)			
	そう思う	やや思う	あまり 思わない	思わない	そう思う	やや思う	あまり 思わない	思わない
「早寝、早起き、朝ごはん」を意識している	47.4	34.0	17.5	1.1	20.4	40.9	31.8	6.9
	44.9	40.5	11.2	3.3	22.0	33.0	36.7	8.5
「時を守り、場を清め、礼を正す」を意識している。	52.5	40.2	6.2	1.1	9.1	60.2	28.4	2.3
	47.2	43.8	9.0		14.6	54.9	29.3	1.2
誰かが困っているときには助けている。	59.7	35.1	5.2		28.4	59.1	12.5	
	62.9	31.5	5.6		28.0	62.2	9.8	
部活動で心と体を鍛えている。	68.0	27.8	3.1	1.1	53.4	39.7	5.7	1.2
	74.2	23.6	2.2		54.9	36.6	8.5	

④ 支える人 ～自らを、そして、地域を拓く	生徒 (%)				保護者 (%)			
	そう思う	やや思う	あまり 思わない	思わない	そう思う	やや思う	あまり 思わない	思わない
学習内容を生かし、家庭学習に取り組んでいる。	51.5	36.1	11.3	1.1	12.5	43.2	43.2	1.1
	50.6	41.5	6.7	1.2	18.3	42.7	37.8	1.2
将来の夢や目標をもち、それに向かって努力している。	48.5	39.1	8.2	4.2	15.9	44.4	35.3	4.4
	47.2	36.0	11.2	5.6	24.4	37.9	32.9	4.8
東中の一員として、よりよい学校になるよう努力している。	57.7	37.1	5.2		19.3	64.8	12.5	3.4
	55.0	38.2	5.6	1.2	28.0	60.0	8.5	3.6
地域の行事やボランティア等に参加し、ふるさとを支えようとしている。	41.2	47.4	7.2	4.2	15.9	44.4	35.3	4.4
	40.4	46.1	12.3	1.2	17.1	48.7	29.4	4.8

⑤ その他 (保護者対象)	保護者			
	そう思う	やや思う	あまり 思わない	思わない
二学期制は、継続した方がよい。	34.0	45.5	12.5	8.0
	39.0	40.3	13.4	7.3
学校の行事や活動について、内容や方法は今のままでよい。	41.0	54.5	3.4	1.1
	41.5	53.7	3.6	1.2
PTA活動は、今のままでよい。	43.2	54.5	2.3	
	42.7	54.9	2.4	
学校の情報提供は、今のままでよい。	43.2	48.8	8.0	
	42.7	51.2	6.1	
先生たちは、生徒のよさに目を向けている。	30.8	64.8	4.4	
	29.3	65.9	4.8	
先生たちは、家庭や地域の方々とのつながりを大切にしている。	33.0	61.5	4.4	1.1
	34.1	58.6	6.1	1.2

【自由記述欄より】

○体育館の雨漏りを早急に何とかしてあげてほしい（複数）

→施設、設備に関しては、その都度市教委と連絡を取り合っております。体育館の雨漏りに関しては、最重要課題として、能代市にお願いしているところです。

○マスクをしないで歩き回ったり、話をしたりしている生徒がいるとのこと。見つけたら注意をしてほしい。

→引き続き、校内でのマスクの着用、手指消毒等、感染症対策について指導していきます。

OPTAでは、授業を参観したかった。(複数)

→教室が密になることを恐れ、1学期末、2学期末とも授業参観をしておりませんでした。

3学期は、感染症対策をした上で、1・2年生の授業参観を計画しています。

○檜山地区、鶴形地区以外のバス通学について

→このことは、能代市スクールバス運行管理要綱により定められており、檜山、鶴形地区以外での利用は現行ではできません。

○二学期制のメリットが感じられない。

→今年度は、能代市の小・中学校管理規則のとおり、夏休み、冬休みの期間を取り、能代市の他の小中学校に合わせました。日程的には、三学期制の学校と同じです。

評価の二期制は変更する予定はありません。評価を二期制にすることで、前・後期に分かれている教科の入れ替えや、音楽、美術、保健体育、総合などの時数を平均して配分することが可能になります。また、ロングスパンで授業を組み立てやすくなるなど、様々な利点があります。

試験や評価の回数が減ることによって、学習の動機付けが低下し、保護者も学校での生活や学習状況が把握しにくいという指摘もありますが、そのために、夏季休業の前半と冬季休業前に保護者面談を行っております。また、長期休業が学期の間にあることにより、その期間を生徒の補充・支援の機会とするため、課題点検日を設けております。

現在は、三学期制の学校も、評価の二期制の方向に移行してきているのが現状です。

今回アンケートの自由記述欄には、多くの皆様から、学校や先生方への励ましや感謝のことがあり、大変ありがたく思っております。

今後とも、ご支援・ご協力をお願いします。

令和4年度 秋田県学習状況調査結果(1・2年生)

昨年11月30日(水)に行われた秋田県学習状況調査の結果について、県平均通過率との差が右表のようになりました。

2年生では、数学と理科でわずかに平均を下回りましたが、5教科の合計では平均を上回る結果でした。1年生では、理科が平均を上回った他は、県平均を下回ってしまいました。

両学年とも、各教科で設問ごとの課題を明らかにし、回復指導を行っております。

	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	▲	□	▲	□	▲
2年生	□	◎	□	□	○
(昨年度)	□	◎	□	○	□

◎県比較+5%以上 ○県比較2~5%
□県比較±2%以内
△県比較-2~-5% ▲県比較-5%以下

生徒質問紙では、2年生で、肯定的な意見が県平均を上回った項目が多くありました。また、ICTの活用に関する項目は、1・2年生とも昨年度調査より大幅に向上しています。

1・2年生とも土・日の勉強時間(1時間以上)が県平均を上回っていますが、1年生で「全くしない」生徒も県平均を上回っているのが気になります。

今後、個人票を配付しますので、ご家庭での確認をお願いします。

全日本アンサンブルコンテスト 秋田県大会

【中学校の部】 銀 賞 能代東中学校木管3重奏

～加藤友芽奈 (F1)、深谷結唯 (C1)、松山翔 (ASax)

第2回 秋田県短詩型文芸大会

【短歌部門】

- <大賞> 鵜木 祐安
- <特選> 鵜木 祐安
- <秀逸> 武田 将弥、仁平 優月
- <入選> 酒巻裡娃奈、庄司 峻亮、松山 翔
成田琥太郎、鎌田 和奏、深谷 結唯
小林 翔、大塚 拓武、堀井 惇世
山本 沙羅

【俳句部門】

- <特選> 後藤 公佑、須藤 龍輝
- <秀逸> 舘岡 晴空、長内 聖和
- <入選> 雄鹿 良音、四津谷咲里
大倉 史也、佐藤 琉斗
小杉山柊音

とじつてつよいはなこ

吉川英治の「宮本武蔵」に、「父母恩重經(ぶもおんじゅうきょう)」という経文が出てくる箇所があります。

お杉婆が写経して無頼の徒に読み聞かせると、親不孝者ぞろいの荒くれどもが皆、涙にくれるという場面です。

「父母恩重經」というお経は、子が親から受ける恩について説かれています。

その中に「父に慈恩あり、母に悲恩あり」という一文があります。親は子の喜びを自分のこととして共に喜び、悲しみや苦しみを共に悲しみ苦しむ。そんな深い慈しみと思いやりの心で育てているということです。この「慈」と「悲」を合わせると「慈悲」となり、仏の心となります。親の子を思う心は、自分のことのように他者に心を向ける仏様の心と同じ尊いものなのだそうです。

ちなみに吉川英治先生は、この経文を知り、感動して、自分の小説に取り入れたとのこと。

しかし、「父母恩重經」は実はインドの原始仏典には存在しない、いわゆる偽経であると言われています。

仏教には「孝」という観念がありません。仏教の思想はこの世の執着を捨てることにあります。煩惱・欲望はもとよりですが、「愛する者こそ大切に思い、離したくないと願い、失った時の悲しみは大きい。元々執着しているからこそその苦である」というわけです。そんなものは捨てよ、というのがインドの原始仏教の考え方です。

しかし、仏教が伝来した中国では仏教思想をそのまま受け入れるわけにはいかなかったと思われれます。中国には既に儒教や老荘思想が根付いていたので、人の道の倫理「人倫」を重視する儒教の「孝」の観念を取り入れたものと考えられています。

「恩」「孝」「慈悲」：いずれも現代社会に欠落している概念であり、その欠落は深刻な問題であると言わざるをえません。

逆に、「子供ができたから親になれるんじゃないよ。これからしっかりとしなさいよ。」と言われた日のことを思い出します。

「自分が、我が子が」から「自分も、他の人たちも」と思えるようになっていきたいものです。